

第11章 コンテンツプロバイダー

ポストペット

▶ 97年大ヒットしたプロバイダーの新サービス ◀

メールを運ぶペットが大人気

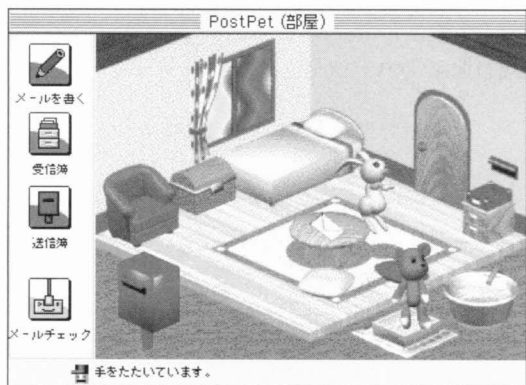
ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社は一般的には、インターネット接続プロバイダー（So-net）として知られているが、事業のもう1つの柱として、ネット上でのコンテンツサービスに取り組んでいる。その中の1つにポストペットがある。ピンクのテディベアが電子メールを運ぶ、一風変わったメールソフトと言えば、「ああ、あれね」と思い当たる人もいると思う。

このソフトではユーザーは、テディベアのほか、ウサギ、カメ、ネコの中から自分のペットを選び、そのペットにメールを運ばせる。お使いを頼まれたペットは、配達先のパソコン画面におじゃまし、しばしそのペットと遊んだ（あるいは喧嘩した）後、メールを置いて、帰宅の途につく。

ポストペットはこんな感じのソフトだ。しかし、ポストペットは単なる電子メールアプリケーションとして完結するものではなく、ウェブやチャットなどとの連動により、発展性を持ったものとなっている。私達はこれをコミュニケーションをテーマとした、いわば「総合的なコンテンツ」であると考えている。

図1 ポストペット

テディベアの部屋にウサギが遊びに来ている。



© Sony Communication Network Corporation

コンテンツの新しい可能性

ポストペットというメールソフトは、育成ゲーム（いわゆる「育てゲー」）的な要素を含んでいるが、自分のペットを育てることに主眼があるのではなく、ペットを媒介として人と人とのコミュニケーションがもっと楽しくなることを目的としている。これは、ウェブページであるポストペットパークにも共通したテーマとなっている。ポストペットパークでは、ペットにあげる「おやつ」や、ペットの住む「部屋」がダウンロードできたり、運動会や、海水浴といったイベントにペットを参加させることができるが、そうした中で、最も重要な役割を持っているのは、「談話室」と呼ばれるユーザーが参加する掲示板だ。ポストペットパークの中の談話室は、ユーザー同士が知り合い、

ペットでメールを送り合う仲間を見つかる場所となっている。たとえば、本物の犬を飼っている人同士が初対面でもその話題で打ち解けることができるように、ポストペットパークの談話室では、ペット達は、ユーザーに会話のきっかけを提供する役割を果たしている。

ポストペットは昨年、マルチメディアグランプリの通商産業大臣賞（財団法人 マルチメディアコンテンツ振興協会主催）をはじめ、数々の賞を受賞した。また、パッケージ商品である「PostPetDX（ポストペットデラックス）」も好調な売れ行きを記録している。このように多くの方に受け入れていただけたのは、ポストペットというアプリケーションそのものの面白さによることはもちろんだが、ウェブページなどを含んだコンテンツ全体としてのポストペットが人を引き付ける魅力のあるものだったからだと思う。

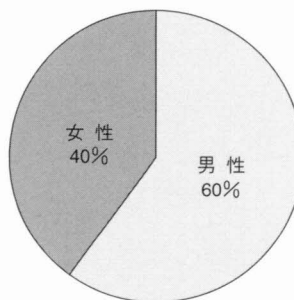
現在、インターネットではさまざまなコンテンツが提供されている。しかしその大半は、ウェブページによる情報の提供や、データのダウンロード、メール配信といった、極めて限定されたパターンに分類することができる。もちろん、その中でも優れたものはたくさんあるが、インターネットという誕生して間もないメディアにおいてコンテンツの形を限定してしまうのは、それが持つ多様な可能性を自ら狭めているような気がする。ポストペットでは、オリジナルの電子メールソフトを中心に置くことで、ほかにはない、ユニークなサービスを提供している。この点で、インターネットでのコンテンツ開発に新たな可能性を示すことができたのではないかなと思っている。

（北村道雄・ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社）

表1 Post Pet DX出荷数とポストペットパーク会員数
（1998年4月末時点）

Post Pet DX出荷数	約100,000セット（定価3,980円）
ポストペットパーク会員数	約82,000人（会費300円/月）

表2 ポストペットユーザー男女比（1998年4月末時点）



●ポストペットホームページ

<http://www.so-net.ne.jp/postpet/>

●お客様お問い合わせ先 So-netインフォメーションデスク

電話：03-3446-7555

電子メール：info@so-net.ne.jp



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp